

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ノリタケカンパニーリミテド

コード番号 5331 URL http://www.noritake.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 忠

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 中村 吉雅 TEL 052-561-7116

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 平成28年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	53,421	△1.1	1,103	△19.3	1,846	△6.7	965	△59.7
28年3月期第2四半期	54,004	20.8	1,366	91.3	1,979	58.0	2,394	250.2

（注）包括利益 29年3月期第2四半期 △1,319百万円（-%） 28年3月期第2四半期 1,217百万円（△45.2%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	67.26	-
28年3月期第2四半期	166.76	-

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	132,700	77,959	56.6	5,231.82
28年3月期	135,931	79,765	56.5	5,345.27

（参考）自己資本 29年3月期第2四半期 75,117百万円 28年3月期 76,749百万円

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	3.00	-	3.00	6.00
29年3月期	-	3.00	-	-	-
29年3月期（予想）	-	-	-	30.00	-

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。平成29年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期（予想）の1株当たり期末配当金は3円となり、1株当たり年間配当金は6円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	△1.5	2,100	△39.1	3,600	△24.7	2,200	△50.1	153.23

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	15,842,849株	28年3月期	15,842,849株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,484,931株	28年3月期	1,484,397株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	14,358,302株	28年3月期2Q	14,360,047株

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他関連する事項につきましては、【添付資料】3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

2. 当社は、平成28年6月29日開催の第135回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成29年3月期の配当

- 1株当たり配当金
- 第2四半期末 3円
- 期末（予想） 3円

(2) 平成29年3月期の連結業績予想

- 1株当たり当期純利益
- 通期 15円32銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は534億21百万円（前年同期比1.1%減少）、営業利益は11億3百万円（前年同期比19.3%減少）、経常利益は18億46百万円（前年同期比6.7%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億65百万円（前年同期比59.7%減少）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

(工業機材)

国内市場においては、主要顧客である自動車、鉄鋼、ベアリングのほか、電子半導体関連で市況が回復せず低調に推移し、売上げは微減となりました。海外市場では、米国では自動車関連が、中国においても鉄鋼や自動車関連が堅調に推移したものの、円高の影響を受け、売上げは減少しました。日本レヂボン、インド、東南アジアへの販売が好調でしたが、円高の影響もあり、売上げは前年並みとなりました。その結果、工業機材事業の売上高は、280億70百万円（前年同期比2.1%減少）、営業利益は2億77百万円（前年同期比61.4%減少）となりました。

(セラミック・マテリアル)

電子ペースト事業は、MLCC用電子ペーストが伸び悩み、売上げは減少しました。セラミックス事業は、米国向けの担体新商品の出荷が始まり、石膏の海外向け販売は好調でしたが、事業全般に景気の低迷と円高の影響を受け、特に蛍光表示管の落ち込みが大きく、売上げは大きく減少しました。共立マテリアルは、韓国・台湾向けの輸出が堅調で電子部材は増加したものの、セラミック原料が落ち込み、売上げは減少しました。その結果、セラミック・マテリアル事業の売上高は、135億55百万円（前年同期比7.8%減少）、営業利益は7億79百万円（前年同期比2.5%増加）となりました。

(エンジニアリング)

主力の乾燥炉及び焼成炉は、従来からの電子部品やリチウムイオン電池向けに加え、自動車部品向けの需要を取り込むことができ、売上げは増加しました。濾過装置はベアリング向けが大きく減少したものの、混合攪拌装置は、化学向けが堅調に推移し、食品向けは新しい顧客の需要を取り込むことにより伸長しました。超硬丸鋸切断機は、国内・海外ともに微増となりました。その結果、エンジニアリング事業の売上高は、72億31百万円（前年同期比25.3%増加）、営業利益は4億9百万円（前年同期比192.4%増加）となりました。

(食器)

国内市場は、ホテル・レストラン向け及び法人向けの販売が好調でありましたが、百貨店向けが減少したことから、売上げは横ばいとなりました。海外市場は、一部、アジア市場のエアライン向けが好調であったものの、米国の主要顧客向けの販売や、欧州市場など市場全体で低調に終わり、円高の影響もあって売上げは減少しました。その結果、食器事業の売上高は、45億63百万円（前年同期比6.4%減少）、3億62百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことから、前連結会計年度末に比べ32億31百万円減少し、1,327億0百万円となりました。

負債は、短期借入金及び長期借入金が増加したことから、前連結会計年度末に比べ14億25百万円増加し、547億40百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したものの、為替換算調整勘定の減少により、前連結会計年度末に比べ18億6百万円減少し、779億59百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ14億38百万円増加し、100億21百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間におけるフリー・キャッシュ・フローは38億61百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ29億66百万円増加し、55億88百万円となりました。これは主に売上債権が18億77百万円減少したことに加え、税金等調整前四半期純利益を15億70百万円及び減価償却費を19億91百万円それぞれ計上したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ50百万円増加し、17億27百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の売却により1億21百万円の収入があったものの、有形及び無形固定資産の取得により18億55百万円支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ7億83百万円減少し、18億94百万円となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金の返済により、短期借入金が11億54百万円、長期借入金が2億53百万円それぞれ減少したこと及び配当金の支払額が4億30百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期業績予想につきましては、本日(平成28年11月8日)公表の「平成29年3月期 第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、下半期の為替相場が当初想定より円高に推移している中、想定為替レートを1USDollar110円から100円に変更したことや、最近の業績動向を踏まえて平成28年5月12日に公表いたしました通期業績予想値を修正しております。

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	109,000	2,400	3,800	2,400	167.16
今回修正予想(B)	108,000	2,100	3,600	2,200	153.23
増減額(B-A)	△1,000	△300	△200	△200	—
増減率(%)	△0.9	△12.5	△5.3	△8.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	109,631	3,448	4,780	4,412	307.32

※平成28年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(注) 業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化によっては実際の業績と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,720	11,840
受取手形及び売掛金	28,556	25,880
電子記録債権	2,262	2,557
商品及び製品	8,427	7,847
仕掛品	3,778	4,129
原材料及び貯蔵品	4,387	4,107
その他	2,298	2,364
貸倒引当金	△30	△22
流動資産合計	60,402	58,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,656	17,170
その他(純額)	26,289	25,288
有形固定資産合計	43,946	42,458
無形固定資産		
	1,200	1,096
投資その他の資産		
投資有価証券	29,184	29,294
退職給付に係る資産	122	173
その他	1,207	1,098
貸倒引当金	△132	△125
投資その他の資産合計	30,382	30,440
固定資産合計	75,529	73,994
資産合計	135,931	132,700
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,307	8,830
電子記録債務	4,239	5,174
短期借入金	12,730	11,505
1年内返済予定の長期借入金	2,011	1,966
未払法人税等	700	571
賞与引当金	1,463	1,491
設備関係支払手形	236	85
営業外電子記録債務	229	403
その他	3,735	3,715
流動負債合計	34,655	33,745
固定負債		
長期借入金	13,474	13,207
引当金	276	191
退職給付に係る負債	2,064	2,006
その他	5,696	5,590
固定負債合計	21,511	20,995
負債合計	56,166	54,740

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,632	15,632
資本剰余金	18,783	18,783
利益剰余金	39,286	39,714
自己株式	△3,991	△3,885
株主資本合計	69,711	70,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,106	9,985
為替換算調整勘定	△1,660	△4,142
退職給付に係る調整累計額	△1,407	△969
その他の包括利益累計額合計	7,038	4,873
非支配株主持分	3,015	2,841
純資産合計	79,765	77,959
負債純資産合計	135,931	132,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	54,004	53,421
売上原価	39,688	39,320
売上総利益	14,316	14,101
販売費及び一般管理費		
販売費	8,823	8,806
一般管理費	4,126	4,191
販売費及び一般管理費合計	12,949	12,998
営業利益	1,366	1,103
営業外収益		
受取利息	33	43
受取配当金	288	305
受取賃貸料	160	210
為替差益	35	—
持分法による投資利益	224	362
その他	79	76
営業外収益合計	822	999
営業外費用		
支払利息	86	40
為替差損	—	82
固定資産賃貸費用	92	87
その他	30	45
営業外費用合計	209	256
経常利益	1,979	1,846
特別利益		
固定資産売却益	1,441	10
投資有価証券売却益	22	—
特別利益合計	1,464	10
特別損失		
固定資産処分損	122	202
減損損失	301	—
関係会社整理損	—	69
その他	0	15
特別損失合計	423	286
税金等調整前四半期純利益	3,020	1,570
法人税、住民税及び事業税	789	499
法人税等調整額	△300	△29
法人税等合計	488	469
四半期純利益	2,531	1,100
非支配株主に帰属する四半期純利益	137	135
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,394	965

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	2,531	1,100
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,394	△118
為替換算調整勘定	16	△2,710
退職給付に係る調整額	67	441
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△33
その他の包括利益合計	△1,314	△2,420
四半期包括利益	1,217	△1,319
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,092	△1,199
非支配株主に係る四半期包括利益	124	△119

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,020	1,570
減価償却費	2,040	1,991
減損損失	301	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15	△11
退職給付に係る負債及び資産の増減額	272	555
引当金の増減額 (△は減少)	△577	△84
受取利息及び受取配当金	△321	△349
支払利息	86	40
持分法による投資損益 (△は益)	△224	△362
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△22	13
有形及び無形固定資産除売却損益 (△は益)	△1,319	191
売上債権の増減額 (△は増加)	45	1,877
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△511	△183
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9	681
その他	127	△65
小計	2,922	5,863
利息及び配当金の受取額	321	350
利息の支払額	△89	△40
法人税等の支払額	△533	△584
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,622	5,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,857	△1,855
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,492	121
投資有価証券の取得による支出	△10	△10
投資有価証券の売却による収入	27	43
貸付けによる支出	△8	△9
貸付金の回収による収入	44	40
定期預金の預入による支出	△707	△786
定期預金の払戻による収入	975	783
その他	△634	△53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,676	△1,727
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	91	△1,154
長期借入金の返済による支出	△1,330	△253
自己株式の売却による収入	—	599
自己株式の取得による支出	△3	△601
配当金の支払額	△430	△430
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,340	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	334	—
その他	—	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,678	△1,894
現金及び現金同等物に係る換算差額	90	△528
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,642	1,438
現金及び現金同等物の期首残高	10,586	8,583
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,943	10,021

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	28,663	14,696	5,770	4,874	54,004
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	717	760	140	△250	1,366

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「工業機材」セグメントにおいて、遊休状態にあり今後も使用の目処が立たない固定資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として301百万円を計上いたしました。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	工業機材	セラミック・ マテリアル	エンジニア リング	食器	計
売上高					
外部顧客への売上高	28,070	13,555	7,231	4,563	53,421
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	277	779	409	△362	1,103

(注) 報告セグメントの利益は、営業利益であります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

【ご参考】平成29年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

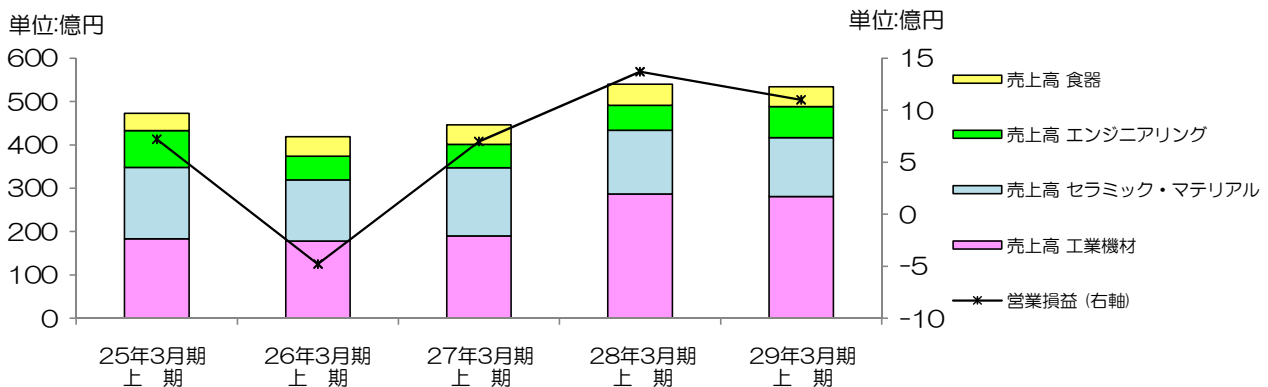
【業績】
売上高 534億円（前年同期比 6億円減収） US\$8.7円の円高により、売上高 15億円減少 営業利益 11億円（前年同期比 3億円減益） 経常利益 18億円（前年同期比 1億円減益） 親会社株主に帰属する四半期純利益 10億円（前年同期比 14億円減益）
【連結の範囲】
連結会社 23社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）
【特別損益】
特別利益 0.1億円：固定資産売却益0.1億円 特別損失 2.9億円：固定資産処分損2.0億円、関係会社整理損0.7億円等
【中間配当金】
中間配当 3.0円/株（前期中間3.0円/株、前期期末3.0円/株）

(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	183	178	190	287	281	△ 6
	セラミック・マテリアル	165	141	157	147	136	△ 11
	エンジニアリング	85	55	54	58	72	14
	食器	40	45	45	49	46	△ 3
		474	419	447	540	534	△ 6
営業利益	工業機材	2.6	1.6	3.0	7.2	2.8	△ 4.4
	セラミック・マテリアル	5.0	1.0	6.9	7.6	7.8	0.2
	エンジニアリング	2.1	△ 4.8	△ 0.5	1.4	4.1	2.7
	食器	△ 2.5	△ 2.6	△ 2.2	△ 2.5	△ 3.6	△ 1.1
		7.2	△ 4.8	7.1	13.7	11.0	△ 2.7
経常利益		11.9	0.4	12.5	19.8	18.5	△ 1.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益		23.4	2.2	6.8	23.9	9.7	△ 14.2
1株当たり四半期純利益		159.53円	14.81円	47.61円	166.76円	67.26円	-
1株当たり純資産		4,124.90円	4,687.47円	4,909.55円	5,538.75円	5,231.82円	-
US\$ 為替レート		79.8円	95.9円	102.2円	120.5円	111.8円	-

売上高及び営業損益の推移（平成25年3月期上期-平成29年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	平成28年3月期 上期		平成29年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	7	11	9	11
セラミック・マテリアル	3	4	3	4
エンジニアリング	0	1	1	1
食器	2	1	3	2
管理部門	8	3	3	3
合計	21	20	18	20

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	H25年3月	H26年3月	H27年3月	H27年9月	H28年9月	対前期比
有利子負債	220	233	303	291	267	△ 24
現金及び預金	111	103	125	106	118	12
ネット有利子負債	109	131	178	184	148	△ 36

2. 平成29年3月期の予想**(1) 重点施策****【工業機材事業】**

自動車、エネルギー、情報機器、医療など先進・成長分野向けの新商品開発や、国内・海外のサービス体制強化を推進する。需要地域ごとの生産・販売拠点整備を進め、グローバルな事業推進体制を構築する。

【セラミック・マテリアル事業】

電子ペーストは、車載用MLCC、インダクタなど電子部品分野での新製品開発と新規需要開拓を推進する。石膏は東南アジア地域での拡販、電子表示関連はタッチスイッチ、タッチパネル等の新商品開発と新市場開拓を進める。セラミック原料・電子部材は、MLCC用材料のシェア拡大と電子関連分野の新商品開発を推進する。

【エンジニアリング事業】

自動車関連分野や電子部品材料分野での新商品開発と新用途開拓によって拡販を図るとともに、海外販売体制の構築を推進する。

【食器事業】

国内、米州では、高品質で洗練された商品を充実させるとともに、提案力を強化して拡販を図る。アジア、中近東地域の営業体制を整備・強化して、市場開拓を推進する。

【設備投資金額】

設備投資 40億円 減価償却費 40億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	平成28年 3月期	平成29年3月期 業績予想				
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	572	281	279	560	△ 12
	セラミック・マテリアル	288	136	144	280	△ 8
	エンジニアリング	135	72	73	145	10
	食器	101	46	49	95	△ 6
		1,096	534	546	1,080	△ 16
営業利益	工業機材	17.2	3	4	7	△ 10
	セラミック・マテリアル	16.1	8	6	14	△ 2
	エンジニアリング	4.7	4	2	6	1
	食器	△ 3.5	△ 4	△ 2	△ 6	△ 3
		34.5	11	10	21	△ 14

(下期想定為替レート US\$=100円)